

平成30年度 大垣市立東小学校 学校関係者評価について

本年度の本校の教育活動について、児童・保護者の皆様へのアンケートの結果と本校教職員で自己評価した結果及び次年度の学校教育目標の方向と重点について、3月1日に開催しました学校評議員会で報告し、ご意見などをいただきましたのでお知らせします。

①明るく活力ある学校【勉強】について

- 見る・聞く姿が育っている。子どもたちが満足し、充実感を感じている。自信につながっている。
- 知識・技能については、児童・保護者の評価も高く、日々の学習内容の定着がなされていることがうかがえる。
- 特に社会科の学習等では、子どもたちの話し合いや情報ツールをうまく利用し、授業が進行されていた。
- 先生一人一人が個性を出されての授業に、子どもたちは明るく楽しく勉強をしている。
- 「算数教室」の長期休業日の開設はよいことである。継続したい。
- 学び方については、職員<保護者<児童と差があるので、指導方法について継続的に校内で研究を進めたい。
- まずは、何がわからないのかがはっきりしないことには、前に進めない。それらが分れば大きく前進できるのではないか。
- 特に、算数や国語について、基礎的な知識や学力を大切にして、習熟度が個人間で異なるが個々に目標を持たせて取り組ませてほしい。
- 知らない子どもが「知らない」と言える環境を、低学年のうちからつくれるとよい。子ども同士の自主的な教え合いがあってもよいと思う。

②美しく規律ある学校【あいさつ・そうじ】について

- 児童の評価は高く、自分たちなりに「やっている」「できている」と実感しているようである。自信をもって取り組んでいくことが、さらに身につけていくことになるように感じる。
- 心地よいところは誰にとっても心地よいところ。よい気分でいられる学校は最高です。「名前付きあいさつ」で、自分の名前を呼んでもらえるとうれしい。そうすることによって自分の存在感が高まり、自信となって何でも進んでできるようになる。
- あいさつのできる子の多い学校になったと感じる。
- いつ行っても、きれいな校内と運動場で、元気なあいさつを受け、自分自身に元気をもらっている。
- 掃除も学校だけでなく、家庭や地域の中でも行い、行事に親子で取り組むことが大切だと思う。

③健康で安全・安心な学校【運動・なかよし】について

- 運動会・大縄記録会等を見学させていただき、児童の協調性・協力性・積極的な行動に感動した。
- 通学班の中で上級生が下級生の面倒を見ている姿がよく見かけられ大変よい。
- 常に相手を考える指導をしていただいている。
- 外遊びが減少しているので、学校での遊びを通じてのコミュニケーション力を養うことが課され、学習面以上に学校への比重が高くなってしまっていると思う。
- 下校時、下校後の安全が大変心配だと感じている。
- 運動への親しみの機会を、有効に活用しながら、「遊び」と「仲間づくり」を進めることで体力づくりへの意識を高めていくとよいのではないかと。
- 「仲間づくり」は楽しい、心の健康は体の健康を必要とする。その中には、運動の嫌いな子もいる。それらが進むことによって、学校が嫌いなところになることがある場合もあることも認識しなければいけない。

④地域に開かれ信頼される学校【学社連携】について

- 学校が開放的で、地域と一体感がある。
- 学校報などの地域回覧で学校の様子を知ることができるので、今後とも有効に活用していきたい。
- 学校と地域との連携は進んでいる。しかし、地域と保護者はどうだろうか？地域の人と関わるのではなく、ネットとかサークルなど地域外の方が多いように思われる。年代の差もあるだろうが、今後の課題である。
- 地域の行事（祭りや町内行事）に積極的に参加する子どもになってほしい。塾やスポーツ少年団、稽古事で忙しい毎日を送っているが子が多いと思うが、計画を立てる中で、子ども会行事にも参加できるよう働きかけてほしい。
- 地域に関しては、私たち地域の者が家庭に戻ってから、子どもたちと接する機会が減少しており、私たちが学校に向かう思いを意識しないといけないと反省している。先生、子どもたちには地域行事等にいつも参加していただき感謝している。
- スマホの取扱いが今後大きな問題となるかと思う。PTA との話し合いをじっくりしていただきたい。